

SiteMinder

SDK 概要ガイド

12.52 SP1



このドキュメント（組み込みヘルプシステムおよび電子的に配布される資料を含む、以下「本ドキュメント」）は、お客様への情報提供のみを目的としたもので、日本 CA 株式会社（以下「CA」）により随時、変更または撤回されることがあります。本ドキュメントは、CA が知的財産権を有する機密情報であり、CA の事前の書面による承諾を受けずに本書の全部または一部を複写、譲渡、変更、開示、修正、複製することはできません。

本ドキュメントで言及されている CA ソフトウェア製品のライセンスを受けたユーザは、社内でユーザおよび従業員が使用する場合に限り、当該ソフトウェアに関連する本ドキュメントのコピーを妥当な部数だけ作成できます。ただし、CA のすべての著作権表示およびその説明を当該複製に添付することを条件とします。

本ドキュメントを印刷するまたはコピーを作成する上記の権利は、当該ソフトウェアのライセンスが完全に有効となっている期間内に限定されます。いかなる理由であれ、上記のライセンスが終了した場合には、お客様は本ドキュメントの全部または一部と、それらを複製したコピーのすべてを破棄したことを、CA に文書で証明する責任を負いません。

準拠法により認められる限り、CA は本ドキュメントを現状有姿のまま提供し、商品性、特定の使用目的に対する適合性、他者の権利に対して侵害のないことについて、黙示の保証も含めいかなる保証もしません。また、本ドキュメントの使用に起因して、逸失利益、投資損失、業務の中断、営業権の喪失、情報の喪失等、いかなる損害（直接損害か間接損害かを問いません）が発生しても、CA はお客様または第三者に対し責任を負いません。CA がかかる損害の発生の可能性について事前に明示に通告されていた場合も同様とします。

本ドキュメントで参照されているすべてのソフトウェア製品の使用には、該当するライセンス契約が適用され、当該ライセンス契約はこの通知の条件によっていかなる変更も行われません。

本書の制作者は CA および CA Inc. です。

「制限された権利」のもとでの提供：アメリカ合衆国政府が使用、複製、開示する場合は、FAR Sections 12.212、52.227-14 及び 52.227-19(c)(1)及び(2)、ならびに DFARS Section 252.227-7014(b)(3) または、これらの後継の条項に規定される該当する制限に従うものとします。

Copyright © 2014 CA. All rights reserved. 本書に記載されたすべての商標、商号、サービス・マークおよびロゴは、それぞれの各社に帰属します。

CA Technologies 製品リファレンス

このマニュアルが参照している CA Technologies の製品は以下のとおりです。

SiteMinder

CA への連絡先

テクニカルサポートの詳細については、弊社テクニカルサポートの Web サイト (<http://www.ca.com/jp/support/>) をご覧ください。

マニュアルの変更点

SiteMinder r12.51.または 12.52 では、このガイドに変更はありませんでした。

目次

第 1 章: SDK について	7
SiteMinder SDK の概要.....	7
アーキテクチャの概要.....	9
ポリシー サーバへのアクセス.....	9
インストールされたディレクトリ構造.....	10
SDK サンプル.....	11
サンプル サブディレクトリ.....	11
SiteMinder テストツール.....	13
SDK のドキュメント.....	14
他の SiteMinder ドキュメント.....	14
カスタム コードのサポート.....	14

第 1 章: SDK について

このセクションには、以下のトピックが含まれています。

- [SiteMinder SDK の概要 \(P. 7\)](#)
- [アーキテクチャの概要 \(P. 9\)](#)
- [ポリシー サーバへのアクセス \(P. 9\)](#)
- [インストールされたディレクトリ構造 \(P. 10\)](#)
- [SDK サンプル \(P. 11\)](#)
- [SiteMinder テストツール \(P. 13\)](#)
- [SDK のドキュメント \(P. 14\)](#)
- [他の SiteMinder ドキュメント \(P. 14\)](#)
- [カスタム コードのサポート \(P. 14\)](#)

SiteMinder SDK の概要

SiteMinder ソフトウェア開発キット (SiteMinder Software Development Kit) (SDK) は、ユーザに以下のタスクを実行する API (アプリケーションプログラミング インターフェイス) を提供します:

- SiteMinder サービスにアクセスできるカスタム フロントエンドアプリケーションを作成します。
- サーバプラグインによって SiteMinder 機能を拡張します。

以下の表では、SiteMinder SDK で API を使用して書き込むことができるカスタム アプリケーションおよびポリシー サーバ拡張の概要について要約します。

目的および関連付けられた API	言語
エージェント アプリケーション: エージェント API	C Java
ポリシー管理アプリケーション: ポリシー管理 API	C Java
分散代行管理サービス (DMS) アプリケーション: DMS API	Java

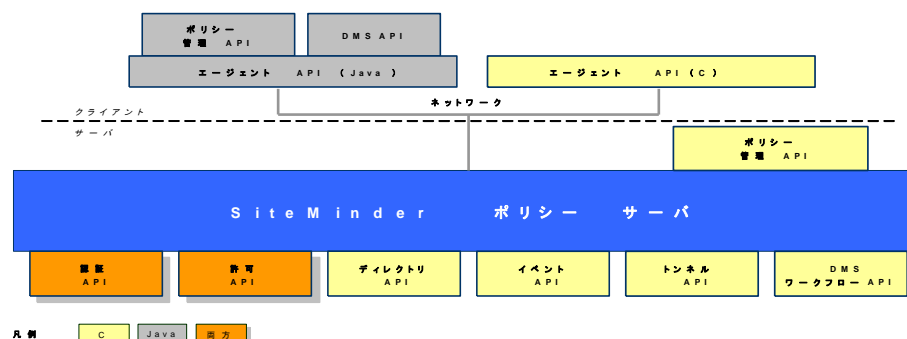
目的および関連付けられた API	言語
認証 : 認証 API	C Java
許可 : 許可 API	C Java
イベント処理: イベント API	C
トンネル サービス: トンネル API	C
DMS のイベント用の前処理および後処理ワークフロー: DMS ワークフロー API	C
サポートされていないディレクトリ タイプへのアクセス: ディレクトリ API	C

カスタムの SDK ベースのプログラムを実行するには、CA ETPKI ライブラリをインストールする必要があります。ポリシー サーバおよび Web エージェントインストールには CA ETPKI ライブラリが含まれます。CA ETPKI ライブラリが存在しない場合は、以下の手順に従います。

1. `installation_location`¥ETPKI ディレクトリに移動します。
2. `readme.txt` ファイルを開きます。
3. CA ETPKI ライブラリを必要なプラットフォームにインストールする手順を実行します。

アーキテクチャの概要

以下の図が、SiteMinder ポリシー サーバに関する API の場所を示します。



ポリシー サーバへのアクセス

SiteMinder SDK で開発するアプリケーションとポリシー サーバのプラグインを実行するには SiteMinder ポリシー サーバが必要です。

ただし、ほとんどの場合、それらのアプリケーションとプラグインの構築にはポリシー サーバを使用しません。1つの例外は、C ポリシー管理 API を使用して、Solaris 用のポリシー管理アプリケーションを構築するとき、ポリシー サーバがインストールされているマシン上で構築する必要があるということです。

実行時には、

- ポリシー サーバと同じマシンに SDK で開発されたプラグインがすべてインストールされる必要があります。
- SDK で開発された一部のアプリケーションは、ポリシー サーバと同じマシンにインストールされる必要がありますが、その他のアプリケーションはリモートで実行できます。

インストールされたディレクトリ構造

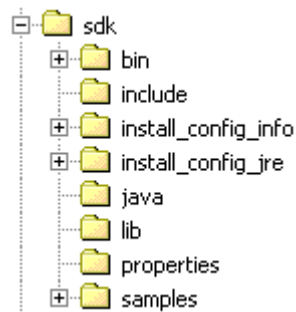
以下の表が、ユーザのアプリケーションとプラグインによって必要なポリシーサーバへのアクセスのタイプを指定します。

この API を使用して開発されたアプリケーションまたはプラグイン	必要とされるポリシーサーバへのアクセスの種別
認証 API	ローカル
許可 API	ローカル
ディレクトリ API	ローカル
トンネル サービス API	ローカル
イベント API	ローカル
C ポリシー管理 API	ローカル
C エージェント API	ローカルまたはリモート
Java エージェント API	ローカルまたはリモート
Java ポリシー管理 API	ローカルまたはリモート

注:C ポリシー管理 API を使用して、Solaris 環境用のポリシー管理アプリケーションを構築する場合は、ポリシーサーバの一部であるライブラリ `libsmpolicyapi45.so` および `libsmutilities.so` を使用します。

インストールされたディレクトリ構造

SDK インストールにはヘッダ ファイル、バイナリ ファイルおよびサンプルコードが含まれます。トップレベルのインストールされたディレクトリ構造は、以下の SDK ディレクトリに表示されます。



SDK サンプル

SiteMinder SDK には、ユーザが API を使用するのを助けることができる多くのサンプルアプリケーションおよびプラグインが含まれます。

以下のディレクトリのサブディレクトリにサンプルがインストールされます。

`install_path/sdk/samples`

例：

`C:/Program Files/CA/sdk/samples`

注:Java サンプルは、`/sdk/properties` に位置して、ファイル `smjsdksample.properties` で定義されたプロパティを使用します。Java サンプルアプリケーションを実行する前に、ユーザ環境の設定でこのファイルを変更します。

サンプル サブディレクトリ

サンプルサブディレクトリには、サンプルアプリケーションとプラグインを構築するためのソースファイル、プロジェクトファイル、`makefile` および他の関連するファイルが含まれます。

以下の表では、サンプルファイルがインストールされている場合のサブディレクトリを示します。

サブディレクトリ名	サンプルの説明
<code>assertiongenerator plugin</code>	SAML アサーション カスタマイズの Java サンプル。
<code>dmsworkflow</code>	C 言語分散代行管理サービスサービス ワークフロー サンプル。
<code>javaauthapi</code>	Java カスタム認証サンプル。
<code>javaazapi</code>	Java カスタム許可サンプル。

サブディレクトリ名	サンプルの説明
javadmsapi	Java 言語分散代行管理サービス サンプル。 ディレクトリには、ビルドと実行スクリプトの例が含まれます。自分のスクリプト用のモデルとして例を使用できます。 このサンプルは、javapolicyapi サンプルによって作成されたポリシーストアを使用します。
javapolicyapi	Java ポリシー管理サンプル。 ディレクトリには、ビルドおよび実行スクリプトの例が含まれます。自分のスクリプト用のモデルとして例を使用できます。
smagentapi	C 言語カスタム エージェント サンプル。
smauthapi	C 言語カスタム認証サンプル。
smazapi	C 言語カスタム許可サンプル。
smdirapi	サポートされていないディレクトリにアクセスするための C 言語サンプル。
smeventproviderapi	カスタム イベント ハンドラを作成するための C 言語サンプル。 このサンプルはヘッダ ファイル smeventproviderapi.h を参照します。これはもっぱらこのサンプルと共に使用されるカスタムヘッダ ファイルです。イベント API (および smeventproviderapi.h 内で参照された)に必要なヘッダ ファイルは、SmEventApi.h です。
smjavaagentapi	Java カスタム エージェント サンプル。 ディレクトリには、ビルドおよび実行スクリプトの例が含まれます。自分のスクリプト用のモデルとして例を使用できます。 このサンプルは、javapolicyapi サンプルによって作成されたポリシーストアを使用します。

サブディレクトリ名	サンプルの説明
smpolicyapi	<p>C 言語ポリシー管理サンプル。</p> <p>サンプルでは、さまざまな SiteMinder ポリシー オブジェクトを作成することにより Web リソースを保護する方法を示します。その例には次のものが含まれます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ API を初期化および初期化解除するための呼び出し。 ■ エージェント、ドメイン（ポリシー ドメイン）、ユーザディレクトリ、レルム、ルール、レスポンスおよびポリシーを作成するのに必要な呼び出し。
smtunnelagent	<p>C 言語トンネルエージェント サンプル。</p> <p>このサンプルは smtunnelservice サンプル共有ライブラリと通信するために提供されます。smtunnelagent サンプルはエージェント API の Sm_AgentApi_Tunnel() 関数を使用します。</p>
smtunnelservice	<p>C 言語トンネル サービス サンプル。</p>

SiteMinder テストツール

SiteMinder テスト ツールはポリシー設定を検証するために使用できる、Windows ベースのユーティリティです。テストツールは、Web エージェントまたは、Web サーバがインストールされていなくても、ユーザはポリシー サーバの機能をテストして、エージェントとポリシー サーバの間のやり取りをシミュレートできます。

テスト ツールはポリシー サーバに要求を送信するエージェントとして機能します。これらのリクエストを使用すると、リソースが保護されているかどうかの検証といった機能テストを実行できます。また、テストツールを使用して、リグレッションテストを実行し、ポリシー サーバが同時リクエストを処理する適切さを確認できます。

SiteMinder テスト ツールを実行するには、以下の場所の `SmTest.exe` を実行します。

```
install_path¥sdk¥bin¥
```

注: テスト ツールはマルチバイト文字をサポートしません。

SDK のドキュメント

SiteMinder マニュアル選択メニューには、以下の SDK ドキュメントが含まれます。

- *SDK 概要ガイド* (このドキュメント)
- SDK リリース ノート
- *C 用プログラミングガイド*
- *Java 用プログラミングガイド*
- *Javadoc* リファレンス

他の SiteMinder ドキュメント

SiteMinder SDK を使用する場合には、以下の SiteMinder ドキュメントが役立ちます。

- *ポリシー サーバ設定ガイド*
- *ポリシー サーバ管理ガイド*
- *Web エージェント設定ガイド*
- *CA SiteMinder® Federation : レガシー フェデレーションガイド*

カスタム コードのサポート

CA は標準的な提供物の一部としてソフトウェア開発キット (SDK) をサポートします。ただし、カスタマやパートナーによって記述されたコードはサポートされていません。ユーザが自分の記述するコードに責任を持ちます。SDK ベースのコードの設計や実装にサポートが必要な場合は、CA カスタマ アカウント チームにご連絡ください。